※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健(通信)	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「現代高等保健体育」（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ライフステージに応じた健康問題について理解を深める。
・自分自身の実生活に活かせるように知識を身に付ける。

２　学習の到達目標

・わが国の保健・医療制度や機関を適切に活用する事の重要性や知識を身に着け、生涯における健康・安全課題の解決に役立て、基礎的な事項を理解し自己の健康管理ができるようになる。
・生涯を通じて自らの健康を適切に管理し，改善していく資質や能力を身に付け、生涯における健康・安全課題についての解決をめざして、総合的に考え、判断できるようになる。
・ライフステージに応じた健康についての課題を考え、解決を目指して総合的に考え、判断することができる。また、それについて意欲的に学習に取り組むことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯の各段階に応じた健康についての課題を考えた上で、生涯における健康・安全課題の解決に役立て、基礎的な事項を理解し自己の健康管理ができる。 ・課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解する。	・思春期における心身の発達 、健康な結婚生活、加齢に伴う心身の変化などの生涯における健康・安全課題についての解決をめざして、総合的に考え、判断している。 ・生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	・自分の行動への責任感や異性を尊重する態度を養い、良好な人間関係を育む姿勢を持ち、生涯を通じて、健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生涯を通じる健康	1,思春期と健康 2,性意識と性行動の選択 3,妊娠・出産と健康	a:思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 a:思春期の心身の変化に対応して，自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること，及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b:生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 b:思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。 c:生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート

※令和４年度以降入学生用

後期	生涯を通じる健康	4,避妊法と人工妊娠中絶 5,ライフステージと健康 結婚生活と健康 6,中高年期と健康	a:結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしている。 a:受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 a:家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 a:中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流をもつことなどが関係することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b:結婚生活と健康について，習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理している。 b:加齢と健康について，習得した知識を基に，中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 c:生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート 確認テスト	観察 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度